



受講生12人が修了証書を受け取った=19日、官公労共済会館内

初任者研修12人が修了

シルバーウッド 介護人材の確保へ

高齢者住宅を提供する株式会社シルバーウッド(下河原忠道代表取締役)は19日午後、官公労共済会館内の石垣オフィスで「第1回介護職員初任者研修 居宅介護職員初任者研修」の修了式を開き、合格した受講生12人全員が修了証書を受け取った。

同社はことし7月、白保に訪問介護事業所「銀木犀」(宮良太康管理者)の認可を得、島内での有資格者を増やす目的で講座を開催。7月27日から通信学習を含めた130時間の研修を修了した。

講習では介護職員初任者研修テキストの座学研修のほか、食事介助や入

浴介助などの実践講習、VRを使った認知症体験や終末期ケアの講習も盛り込まれた。

最年少受講生だった佐藤愛華さん(16)は「受講する前は利用者ができないことを手助けすることが介護の仕事と思っていたが、一人ひとりの個人の尊厳を大切にしたり、近くで寄り添うことが大切と知り、改めて介護の仕事は素敵だなと思った」と話した。

設楽幸生さん(33)は「障がいの仕事を始めようと家族で石垣に移住し、今回介護を学ぶ中で共通する部分も多く、一人の人と接することに対してすごく勉強になり参加してよかった」と感想を述べた。

宮良太康管理者は「石垣でも(人生の)最期を自宅で迎えたくても施設や病院で迎える人も多い。介護現場も高齢化が進み、少しでも介護サー

ビスの選択肢を増やすためにも介護人材の確保が必要」と指摘。「石垣島北部や竹富町の離島など、ニーズを把握しながら年に3〜4回の講座を開いていきたい」と意気込んだ。